

コーディネーター通信

小・中学部用 第28号 平成24年3月1日
三重県立稲葉特別支援学校 特別支援部発行

特別支援教育実践研究報告会での発表

平成24年2月20日(月)に三重県水産会館において、三重県教育委員会主催による平成23年度特別支援教育実践研究報告会が行われました。参加者は、三重県下の幼稚園、小中学校、高校、特別支援学校の教職員約100名でした。

研究実践報告として、松阪市教育委員会事務局育ちサポート室による「早期からの一貫した支援についての取組から」と三重県立稲葉特別支援学校による「特別支援学校のセンター的機能における取組から」の2つの報告が行われました。稲葉の報告は、コーディネーターの西井が発表を行いました。



この1年間コーディネーターとして、6つのセンター的機能についてどのような取組をおこなってきたか、事例検討会での事例の分析方法、学校コンサルテーション、研修講師、保育園や幼稚園での就学相談、支援会議等での外部機関との連携などを話し、最後に今年度から取組始めた「コーディネーター通信」についても詳しく話題提供しました。

この日は、これまで発行した通信を全て県教委に冊子状に印刷していただき、参加者に参考資料としてお渡しすることができました。県下100名の教職員を前に話をさせていただいたのですが、さすがに緊張して、どんどん早口になっていき、気が付くと与えられた30分を全て使わず話が終わってしまいました。

さて、甲賀市教育委員会こども教育支援係の西谷先生からは、先進的な取組について話をいただきました。甲賀市では、「ここあいパスポート」という乳幼児期から就労までの支援の記録や資料を1冊にまとめた相談支援ファイルを作成しています。保護者が窓口ごとに子どもの説明を繰り返す必要がなく、提示するだけでつながりがスムーズになるということです。

つまり、情報の整理と共有による早期支援と継続支援を目的とし、作成されているということでした。今後、三重県でも必要な取組だと感じました。

※後日、県教委から稲葉の発表に対し、参加者のアンケート結果で「コーディネーターの職務や取組について参考になった」「行動分析について参考になり、通信など情報発信の大切さがわかった」等の意見があったと報告をいただきました。

再度、センター的機能を考える。

センター的機能の中で、「特別支援教育等に関する相談・情報提供」とありますが、この1年間、通信でわずかながら情報をお伝えできたと思っています。また、「福祉・医療・労働の関係機関等との連携・調整」とありますが、連絡先を掲載したものだけでもおよそ100機関を掲載することができました。福祉サービス提供施設、割引施設、行政機関、相談機関、親の会、障がい者歯科センターなど公的機関、民間機関おりませ掲載しました。この1年で、それだけの機関となんらかのつながりを持つことができたということです。

特別支援学校は地域のセンターとしての使命があります。「福祉のことは福祉に聞いてください」と保護者の方に簡単に伝える時代は、もう昔のこととなりました。私たち、特別支援学校は外部機関との連携を通じて、困り感を持たれている方々をなんとしても支えていかなければなりません。

情報提供もその一つです。必要な情報の見つけ方が難しい方もおられます。市役所や相談センターに足を運ぶことが難しい方もおられます。パソコンをお持ちでない方もおられます。インターネットなんてできないという方もおられます。広報は読まないという方もおられます。学校ができることはわかですが、それでも一つの情報で救われる方もおられるかもしれません。選択肢があればよりニーズに合ったものが見つかるかもしれません。もっと早くにこのような取組をしていれば、困っている人は少なくなっていたかもしれません。

今年度、通信作成を通じて様々な機関と連携できました。情報もいただけるようになりました。少しでも困難な状況にある方に適切な情報を伝えられたらと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

アンケートのお願い



前回アンケートをお願いしたのは12号発行時でした。保護者の皆様に支えられ、その後この通信は28号まで発行することができました。誠にありがとうございます。まだ3月中旬まで発行は続きますが、ここで、今年度の取組についてのアンケートをお願いし、今年度の反省や来年度に向けてのご意見もお聞かせいただくことで、今後の通信作成への参考にさせていただきたいと考えております。

保護者の皆様、年度末で大変お忙しいと思いますが、何卒、ご協力のほどよろしくお願いいたします。アンケート用紙の回収締切は3月15日(木)とさせていただきます。

連絡帳を通じて担任にお渡しいただくか、直接お持ちいただいてもかまいません。なお、結果につきましては、できる限り年度内に配布できるようにしたいと思います。さらに回答は、今後の特別支援教育の推進と理解のために活用させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

アンケート用紙は簡単に外せますので、外してご利用ください。

「コーディネーター通信の評判は？」

コーディネーター通信は、保護者の皆様に配布していますが、毎号各クラスへも一部余分にお渡ししています。

コーディネーター通信を発行すると、何人かの先生が感想を伝えてくれます。「ここが良かった。」「ちょうどこのことを考えていたところだった。」「勉強になった」等、いつも良い意見を頂くので、その都度発行してよかったなと胸をなでおろします。

先日、県内のある特別支援学校の先生から「コーディネーター通信、良い取組ですね。参考にさせていただきます。」とのお言葉も頂きました。

そこで、校内の何人かの先生方に改めて、「コーディネーター通信」についてインタビューを行い、また、外部機関の方にも、直接お会いし、感想を聞かせていただきました。



校内 A 先生

いつか言いたいと思っていた。毎号グッド!! 素晴らしいと思う。

校内 B 先生

勉強になるので、クラスでファイルに綴じて保存している。

校内 C 先生

保護者が知りたい情報や保護者に話したい情報が載っている。保護者の方からちゃんと読んでいるといった話を耳にします。

地域のこと、こんなことしているんだということがわかりました。

校内 D 先生

毎回、わかりやすく書いてある。構成もちゃんとしている。

校内 E 先生

字の大きさがいい。堅苦しい文章ではないので読みやすい。必要な部分をたまにコピーしてノートに貼って保存しています。

校内 F 先生

私も分からないことばかりなので、福祉のこととかとても勉強になります。尋ねられても、保護者の方に説明できないので、とても助かります。

津市障害福祉課 Gさん

小学年齢の子ども達の家庭に情報を入れてもらえるのはすごく良い。小学部の段階で利用につながる事が大切。小学部の保護者にこの通信を見て、来てもらったことがある。この通信が大きな窓口となっている。ぜひ、これをきっかけに、疑問点や分からないことなど、なんでも市役所に聞きに来てもらいたいと思います。

津市障がい者相談支援センター Hさん

津市限定の情報が載っているので、必要な情報がピックアップされていて使いやすい。コンパクトにポイントを伝えてもらってあるので、私もこの通信を活用して説明に使わせてもらっています。稲葉の保護者の方からこの通信を読んで、連絡を頂いたこともあります。他の学校の保護者から、「うちの学校にはこんな通信はない」といったさみしい声も聞きました。

津市教育委員会 Iさん

いつも読ませていただくのが楽しみでした。この通信は、読み手が保護者であっても教員であっても、私たち外部の者であっても、有意義なものだったと思います。製作・編集お疲れ様でした。今後もぜひ発行して、私たちにもいただければ幸いです。

こども総合支援室 Jさん

様々な情報をいろんな視点で発信していただき、ありがとうございます。本年度発行されたものを保存版のようにまとめてくださるとかがいい、ぜひ連携している機関への配布についてもよろしくお願ひしたいと思います。

校内の先生方、外部機関の皆様、感想をお伝えいただき、ありがとうございます。今後とも、どうぞよろしくお願ひします。

「平成 23 年度コーディネーター通信集」配布へ

これまでコーディネーター通信は 28 号発行してきました。以前、保護者の皆さまにアンケートをお願いしたところ、「**チラシ的に失われるのはおしい**」といったご意見をいただきました。

そこで、これまでの通信を冊子にして保護者の皆さまに配布することを考えています。もう一度見ようと思ってもなくされた方もおられるかもしれません。3 月までに配布したものをホッチキスで止め、保護者の皆さまに配布させていただく予定です。配布は、来年度 4 月までに行うつもりです。なお、都合上記事の大きさは 50%縮小したものになります。また、必要な時にご活用いただければと思います。

